

### 取扱説明書

- この説明書と保証書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと大切に保存し、必要なときお読みください。
- 保証書は必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。



保証書別添付

技術基準適合証明品

上手に使って上手に節約

このたびは、ユニパックスボーカル用ワイヤレスマイクロホンをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

### 概要

- 本機は、ボーカル用ワイヤレスマイクロホンです。
- PLLシンセサイザー方式の採用により、送信周波数の設定ができます。
- コンピュータ雑音、調光コントロール雑音および都市雑音などの影響を受けにくい800MHz帯を採用しています。
- 単三乾電池1本で連続約10時間使用できます。
- 電源は単三乾電池と、別売の充電パックによる充電式の2通りで使用できます。
- 樹脂ケースの採用により軽量化を図っています。
- 抗菌樹脂を採用しています。

### 使用上のご注意

#### 技術基準適合証明ラベルについて

本機は、電波法で規定される技術基準適合証明品です。  
機器一台一台にその証明番号（証明ラベル）が貼ってあります。  
みだりに剝がしたり損傷の無いようご使用願います。

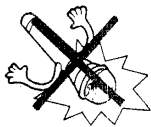
#### 違法改造の禁止

本機を分解したり、内部の部品にさわったりしないでください。  
改造することは法律で禁じられています。



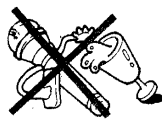
#### 取り扱い

床に落としたり、物に当てたりしないでください。



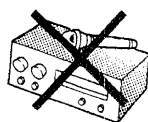
#### 水は禁物

水にぬれた場合はすぐに電源スイッチを切り、乾いた布でふいてください。



#### 置かないで

アンプの上や夏の閉めきった車の中のような温度の高い所や湿度の高い所には置かないでください。



#### 使用後

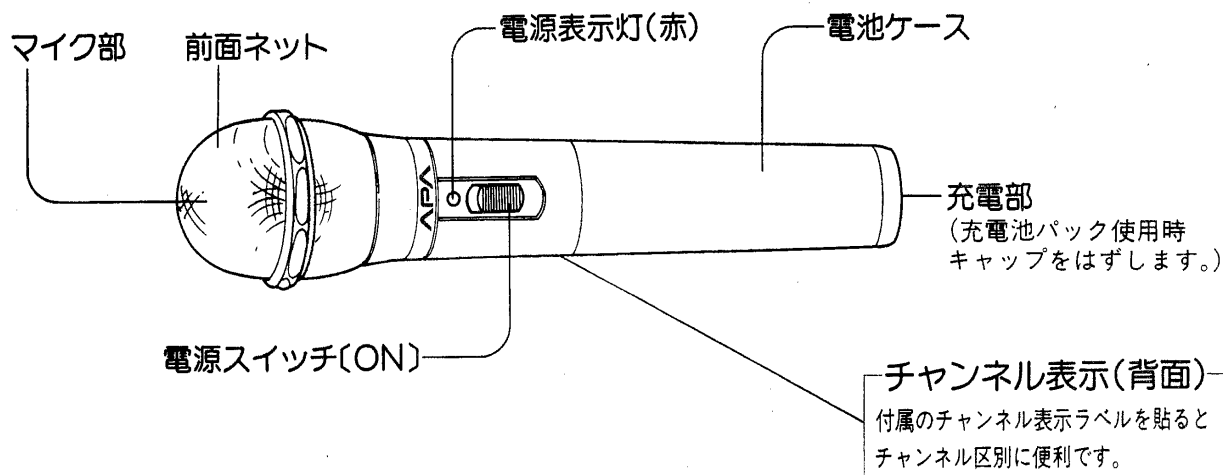
電源スイッチを切ります。  
また、長時間（2週間以上）使用しないときは、乾電池を取り出してください。

#### 乾電池は正しく使って

乾電池は使いかたを誤ると、電池の液もれで商品が腐食したり、電池が破裂する恐れがあります。  
充電、ショート、分解、加熱したり、火の中へ投入したりしないでください。



# 各部の名前と働き



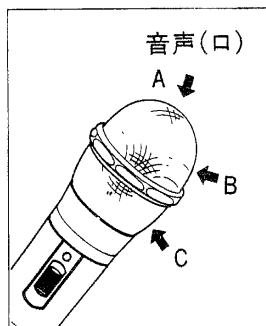
## 上手な使いかた

### マイクと口との距離

マイクは口から5～10cm離してご使用ください。明りょうでひずみのない音を再生します。マイクを口に近づけますと低音の効果が上がります。

### マイクの方向性

本機は単一指向性マイクですので①の方向の音声には感度がよく、②、③の方向は①の方向にくらべ感度が $\frac{1}{2}$ ～ $\frac{1}{5}$ になります。よい音質で感度よく使用するためには、音声(口)が前面①の方向にくるようにしてください。



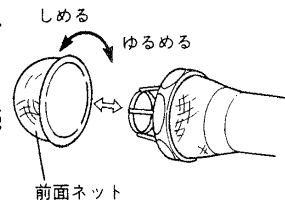
### 雑音のない、きれいな音で聞くには

- 雑音が入る場合は、ワイヤレスアンテナに近づけてご使用ください。そのときの距離は2～10mにしてください。  
なお、ワイヤレスアンテナから2m以内に近づきますと、使用していないチャンネルへの飛び込みや混信など、受信機が誤動作することがあります。
- 受信機やワイヤレスアンテナはデジタル機器や高周波雑音のでる機器などからできるだけ離して設置してください。(5m以上)

### マイクどうしは、50cm以上離してください

### 前面ネットの交換について

前面ネットが破損、変形、汚れた場合、別売の交換用前面ネットで交換できます。前面ネット交換の際は、販売店にご相談ください。



### ハウリングについて

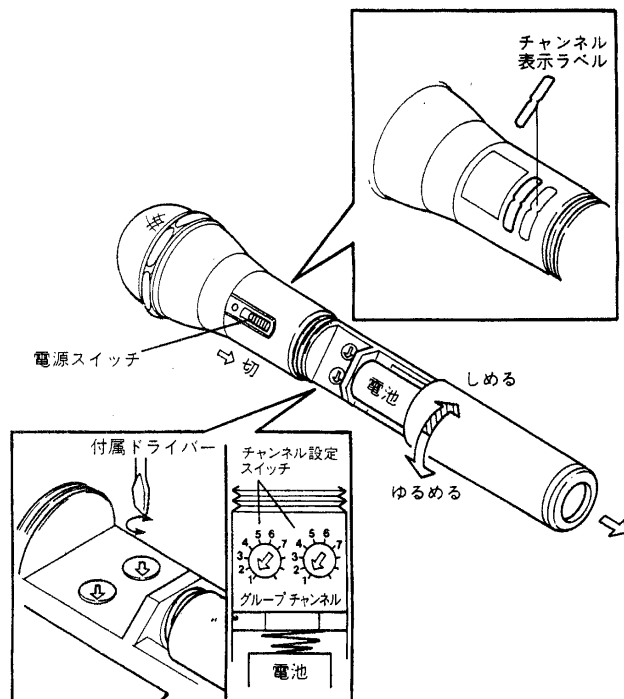
本機は高性能の単一指向性マイクを使用しており、ハウリングがおきにくい設計になっていますが、せまい室内でしかもスピーカの近くで使用した場合にはハウリングをおこすことがあります。その場合は受信機のボリュームをしばらく、マイクの使用位置を移動してください。

# 周波数設定のしかた

- 受信機とマイクは、同じ周波数に設定してください。
- 同時に使用するマイクは、全て同じグループにして、全て違うチャンネルにしてください。

## ■周波数設定のしかた

- ①電源スイッチを切ります。  
(電源スイッチがON状態のまま周波数設定を切り換えても、周波数設定は変わりません。)
- ②電池ケースを矢印方向にまわし、下にずらします。
- ③グループ設定スイッチの「↑」を受信機のグループと同じ数字に、付属のドライバーで合わせます。
- ④チャンネル設定スイッチの「↑」を受信機のチャンネルと同じ数字に付属のドライバーで合わせます。
- ⑤電池ケースを元通りにしっかり閉めます。
  - 付属のチャンネル表示ラベルを指定の位置に貼ると、チャンネル区別に便利です。



## ■グループについて

- ①同一場所で、マイクを同時に使用する場合は、1システム単独使用にしてください。
  - 1つのグループに統一して使います。
  - グループ1～4の中から1つ選んでシステムを組めば、最大6波まで使えます。
  - グループ5は5波、グループ6は1波使えます。
- ②グループ7はグループ1～6の中から選定された周波数で構成されており、次の条件下で十分に注意して使用したときは、7波の組み合わせも可能となります。
  - ワイヤレスマイク間を50cm以上離す。
  - ワイヤレスマイクと受信機間およびワイヤレスマイクとアンテナ間を2m以上離す。
  - 隣り合った部屋ではワイヤレスマイクを使用しない。

### ご注意

送信周波数表(6ページ)にないグループ・チャンネルに設定して電源スイッチを「ON」にすると、電源表示灯は早い点滅をし、送信できません。そのままの状態にしますと、乾電池は消耗します。

# 乾電池の交換・確認について

※必ず電源スイッチを切ってください。

## 1 電池ケースを外します。

マイク本体をしっかり持って電池ケースを矢印方向に回し、下にずらします。

## 2 乾電池を入れます。

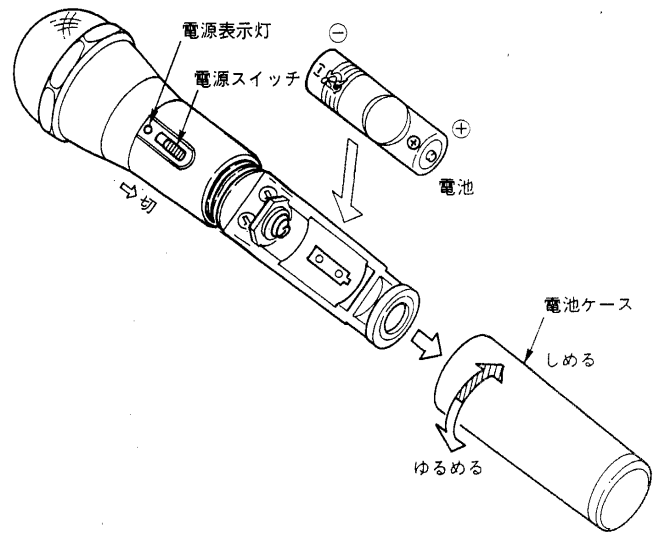
付属の単3乾電池1個を電池収納部の $\oplus$  $\ominus$ の表示に合わせ、 $\ominus$ 側より入れてください。

## 3 電池ケースを元どおりにします。

しっかりとしめます。

## 4 乾電池の確認をします。

乾電池を収納した後、電源スイッチを「ON」にしたとき、電源表示灯が点灯すれば動作OKです。電源表示灯が遅い点滅をした場合、乾電池が消耗していますので、早めに新品の電池と交換してください。また、電源表示灯が点灯しない場合も新品の乾電池と交換してください。

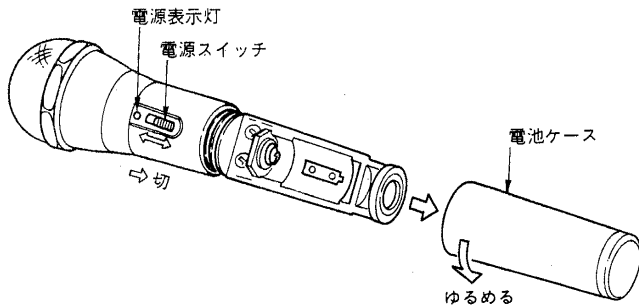


# 充電式としてご使用になる場合

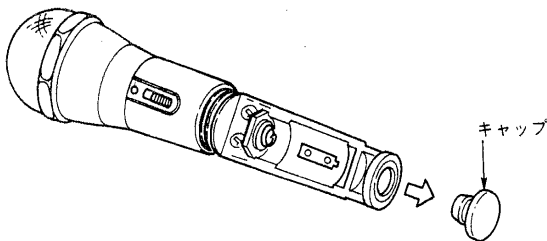
充電式としてご使用になる場合は、必ず専用充電電池パックWRP-8000(別売)、ワイヤレスマイク用充電器 WP-8002 (別売) を使用してください。

※必ず電源スイッチを切ってください。

①電池ケースを矢印方向にまわし、外します。

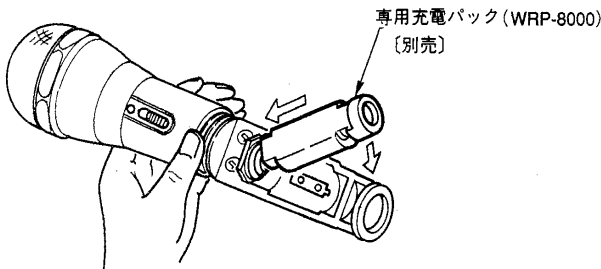


②充電部のキャップを取り外します。  
(電池方向に再び戻す場合は、キャップを取り付けてください。)

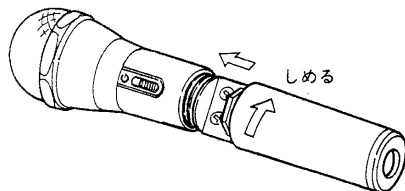


③本体を図のように持ち、専用充電電池パック

WRP-8000 を本体のスプリング端子側(⊖端子)に押しつけてから⊕端子側を差し込みます。

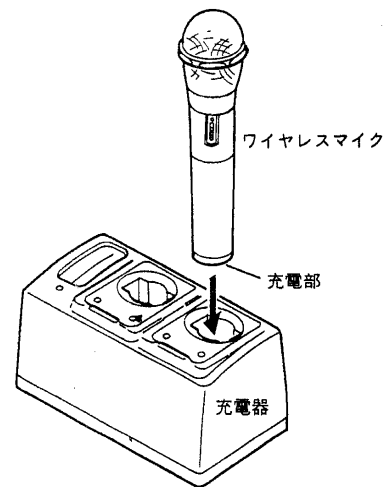


④電池ケースをもとどおりにしっかりしめます。



⑤ワイヤレスマイク用充電器 WP-8002 を準備し、ワイヤレスマイクの充電部を下にして充電器のワイヤレスマイク差し込み口に入れてください。約5時間で充電が完了し充電完了表示灯(緑)が点灯します。(充電途中でワイヤレスマイクを差し込み直すと、最初から充電を開始し、過充電になりますのでご注意ください。)

※詳しくは充電器 WP-8002、充電電池パックWRP-8000の取扱説明書をお読みください。



●充電はできる限りワイヤレスマイクの電源表示灯が点滅してから行ってください。点滅前の充電を繰り返すと、ワイヤレスマイクの使用時間が短くなる場合があります。(充電電池パックのメモリー効果)メモリー効果が発生したら、ワイヤレスマイクの電源表示灯が点滅するまで使用してから充電してください。

## ■充電時のご注意

- 初めて使用する場合や、長い間(1ヵ月以上)使用していなかった場合は、必ず充電を行ってから使用してください。
- 電源表示灯が点灯していても、電池が放電しきる直前に、電波の到達距離が短くなる場合があります。そのような場合は、早めに充電を行ってください。

## ■充電電池パックWRP-8000の交換

- 内部に使用している電池の、充放電回数は、約500回です。これ以上の回数を過ぎた場合や電池が古くなってきますと、充放電効率が大幅に低下します。早めに充電電池パックWRP-8000の交換を行ってください。

# 定格・付属品

## ■定格

送信周波数 (0.125MHz間隔、30波)							識別信号	2値FSK変調	
周波数 (MHz)	グループ(下2桁目)・チャンネル(下1桁目)						7波 使用時	トーン信号	32.768 kHz
	1グループ	2グループ	3グループ	4グループ	5グループ	6グループ		電波形式	F3E
806.125	B 11						B 71	発振方式	水晶制御PLLシンセサイザ方式
806.250		B 21						変調方式	リアクタンス変調方式
806.375	B 12						B 72	空中線電力	2 mW
806.500		B 22						変調感度	± 5 kHz FM(100 dB SPL 1 kHzにて)
806.625			B 31					使用マイク	単一指向性エレクトレットコンデンサマイクロホン
806.750				B 41				周波数特性	100 Hz~10 kHz (1 kHz 基準50μエンファシス)
806.875			B 32				B 73	最大入力音圧	130 dB SPL
807.000		B 23						入力等価雑音	36 dB SPL以下(Aカーブ)
807.125	B 13							使用電池	単3乾電池 R6P(NB)×1個 1.5Vまたは 専用充電電池パック WRP-8000(別売品)×1個
807.250						B 61		消費電流	約70mA(1.5Vにて)
807.375			B 33					電池寿命	約10時間(単3乾電池R6P(NB)使用、常温25°C連続使用にて)
807.500				B 42			B 74	周囲温度	0°C~+40°C
807.625					B 51			寸法	φ52.5(最大径)×213(長さ)mm
807.750	B 14							質量(重量)	約180g(電池含む)
807.875		B 24						仕上げ	ダークグレーメタリック調樹脂仕上げ マンセルN2.5近似色
808.000				B 43					
808.125					B 52				
808.250			B 34						
808.375					B 53				
808.500		B 25					B 75		
808.625			B 35						
808.750					B 54				
808.875		B 26							
809.000	B 15								
809.125				B 44					
809.250			B 36						
809.375				B 45			B 76		
809.500	B 16								
809.625					B 55				
809.750				B 46			B 77		

## ■付属品

単3乾電池..... |  
 マイクホルダ(PF 1/2)..... |  
 変換ねじ(PF 1/2⇒W3/8⇒W5/16)..... |

チャンネル設定用小型ドライバー..... |  
 チャンネル表示ラベル..... |  
 ソフトケース..... |

# アフターサービスについて

## 1. 保証書（別に添付してあります。）

保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店から受け取っていただき、内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

**保証期間**……お買い上げ日から、電子回路部1ヶ年、(外装部)6ヶ月

## 2. 修理を依頼される時

取扱説明書をもう一度ご覧いただき、なお異常のあるときは、必ず電源を切ってから、お買い上げの販売店にご連絡ください。保証書の記載内容により、販売店が修理をさせていただきます。

### ●保証期間中は

保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理をさせていただきます。

ご連絡していただきたい内容

- ご住所・ご氏名・電話番号
- 製品名・品番・お買い上げ日(保証書をご覧ください。)
- 故障または異常の内容(できるだけ詳しく)
- 訪問ご希望日

### ●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店へご依頼ください。修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理いたします。

## 3. アフターサービスなどについて、おわかりにならないとき

お買い上げの販売店にお問い合わせください。